

第2回検討会(R4)における意見等と 対応状況・方針

令和5年8月

沖縄県土木建築部八重山土木事務所

議事(1) 第1回検討会(R3)における意見等と対応状況・方針について

区分	指摘/指導・助言内容	対応状況・方針	記載資料等
専門家ヒアリングについて	専門家へのヒアリングを実施した場合には、ヒアリング時の資料及び結果について、本検討会で報告してほしい。	ヒアリング資料及びヒアリング結果を参考資料として、提示します。	参考資料-4
繁殖行動への影響について	カンムリワシやイリオモテヤマネコの繁殖行動への影響については、専門家に確認してほしい。	カンムリワシについては、令和5年6月までの結果を地元有識者に確認し、指導・助言を受けました。 ヒアリング結果は、参考資料として提示します。	資料-2 p14~15 参考資料-4
外来種について	外来植物の駆除方法について、関係者間で事前に共有したほうが良い。	環境省等が発行している駆除マニュアルを参考に工事業者への環境教育の中で駆除方法の共有を行っています。 令和5年度は、令和5年5月8日に実施しました。	-
	ハイイロゴケグモの確認・駆除状況については、可能な限り速やかに報告してほしい。また、発見場所や日時について、詳細を共有してほしい。	各季調査終了後、確認状況等を西表自然保護官事務所へ連絡するとともに、詳細については、速報を提出し、情報共有を行っています。	-

議事(2) 工事中の環境モニタリング調査結果【R3秋～R4春】の報告について

区分	指摘/指導・助言内容	対応状況・方針	記載資料等
陸上植物 について	流出が多いヒルギダマシについては、植付時のヤシガラマットの浮力の影響も懸念されるため、植え付け方法については、検討してほしい。	マングローブの専門家に植付方法、移植地等についてヒアリングを行い、ヒアリング結果を参考に保管苗を移植する予定です。	-
	ヒルギダマシの再移植地について、具体的な場所はあるか。	橋の上流側である程度、干潟が広がっている場所を検討しており、最終的には専門家ヒアリングを踏まえ、決定する予定です。	-
	ヒルギ類の個体数の増減について、記載内容と図、表の対応が分かりにくいので、分かりやすくしてほしい。	記載内容と図、表が対応するよう整理しました。	資料-2 p9~10
	外来植物種の分布状況について、調査範囲を確認地点図に示してほしい。	確認地点図に調査ルートを図示しました。	資料-2 p11~12
陸上動物 について	カンムリワシの繁殖状況として、幼鳥や営巣の確認ができるようにしていただきたい。	9月の巣外育雛期調査で幼鳥の確認を行っており、令和4年9月においても幼鳥が確認されています。	資料-2 p14
	ロードキル調査の具体的な種やデータを見せてほしい。	参考資料として、提示します。	参考資料-5
水生生物 について	水生生物（魚類）の整理方法について、マングローブへの依存性が高い種など、この環境に依存しているような注目種をリストアップして、その種の確認状況を分かるようにしてもらいたい。	選定基準を設けて注目する種を選定し、各種の確認状況について整理しました。	資料-2 p30~31
	ニセシラヌイハゼの定量調査について、捕獲による影響が懸念されるので、実施方法について検討してほしい。	本検討会委員と相談しながら、実施方法について検討を行い、令和4年夏季調査から実施しています。	資料-2 p32
	水深の変化を示しているグラフ中に現在の橋脚、今後予定している橋脚の位置を追記すると、これからの検討がやりやすくなる。	グラフ中に橋脚の位置を追記しました。	資料-2 p35

議事(3) 今後のモニタリング調査内容及び工事計画について

区分	指摘/指導・助言内容	対応状況・方針	資料等
工事計画について	多くの事業で事業工期が伸びるのを見てきたが、本事業については、予定の工期で終了するようにしてほしい。	現時点の計画をベースに前倒しできるところは前倒しできるように引き続き努力します。	-
陸上植物について	希少植物の再移植の検討では、移植方法を追記してほしい。	移植方法の再検討を追加しました。	資料-3 p1
	ヒルギ類の個体数の減少について、自然現象によるものかどうかを専門家に確認してほしい。	ヒルギ類の増減の要因を分析し、必要に応じて、マングローブ専門家へのヒアリングを検討しています。	-
陸上動物について	カンムリワシの繁殖状況やイリオモテヤマネコの確認状況など、何か分かればすぐに情報を共有する体制をつくってほしい。	四半期ごとの定期報告とは別に、情報が入り次第、共有します。	-